

## 「タンポポ調査・西日本2015」第2回実行委員会報告

【日 時】 2014年3月2日(日) 午後1時～2時10分

【場 所】 大阪市立自然史博物館 集会室・実習室

【出席者】 河端・香川(福井)、布谷(三重)、芦谷・前田・遠藤・福岡(滋賀)、村田・西村・佐久間・野見山(京都)、木村・高島・宮田・伊東・西野・長谷川・河合・神田・廣寄・川野・若藤・瀬崎・加藤・西村・山本・西本(大阪)、鈴木・笹井・須藤(兵庫)、有山・今西(奈良)、内藤・苫谷・矢田部(和歌山)、清末(鳥取)、狩山・地職(岡山)、山本・井上・殿迫・秋田(広島)、小川(徳島)、末広(香川)、橋越(愛媛)、伊東(高知)、三島・高野・松本・赤瀬・満行(福岡)、上赤(佐賀)  
以上名簿記載者 17府県 54名(未記載の方も数名おられます)

【司会・記録】 木村(大阪自然環境保全協会)

【配布資料】 委員会レジュメ・第1回スタッフ会議報告・本日の予定・各府県事務局

覧・タンポポ調査マニュアル(一般用)・タンポポ調査実施要項(スタッフ用)・入力フォーマットとその説明・スマホの使い方・前回の報告カラーチラシ・西日本タンポポ調査ニュースNO.1・参加票・振込用紙

### 【当日の日程】

#### 午前の部(10～12時) 一般参加者向け調査説明会

- 9:30～ 植物園前集合、受付開始(すぐに博物館集会室へ移動)
- 10:00～ 開会のあいさつ(布谷)・諸連絡(木村)
- 10:10～ 調査説明会(一般向け): タンポポ調査の概要・見分け方(鈴木)
  - ・位置情報の検索(小川)・スマホ利用について(三島)
- 11:20～ 長居公園内でタンポポウォーキングータンポポを探して植物観察。調査方法やタンポポの見分け方・調査用紙への記入方法を現地で体験
- 11:40～ 質疑応答・各府県からの報告・連絡(12:00に解散)

#### 午後の部(13～16時) スタッフ向け調査講習会

- 13:00～ 集会室で、開会のあいさつと講習会の趣旨説明(布谷)
- 13:10～13:40 第2回実行委員会
  - ・議事(木村)・各府県の現状の紹介(参加府県代表)・今後の予定の確認
- 13:40～15:40 識別講習会(於 集会室、花粉観察時に実習室へ移動)
  - ・調査実施要項(スタッフ向け)の説明(木村)・データ入力方法について(小川)・スマホ利用データについて(三島)
  - ・花粉の顕微鏡観察実習(小川)
- 15:40～16:00 質疑応答、解散

### 【案 件】

#### (1) 経過報告(いずれも別紙参照)

- 2013年4月21日(日) 「タンポポ調査2015」に向けた打ち合わせ会(4名)
- 2013年6月30日(日) 第1回実行委員会(+講演会)大阪自然史博(29名)
- 2013年8月31日(土) 第1回調査マニュアル小委員会報告(6名)
- 2013年10月19日(土) 第2回調査マニュアル小委員会報告(6名)

## （2）調査方法について（前回2010調査との変更点を中心に）

- ① 調査の基本的な方法：原則として前回と同じ。
  - ・頭花は必ず添付（ない場合は無効）、瘦果は同じ株にあれば添付
  - ・総苞外片の状態（1～5段階）の記録
  - ・花粉の顕微鏡観察（総苞外片の状態が1～3のものを対象）
  - ・瘦果サンプルを大阪市立大学伊東研究室へ送付して雑種解析
  - ・種の同定：調査者による記録と花粉の顕微鏡観察をもとに各府県事務局で同定  
→判定困難な標本については「サンプル検討会」などで検討。
  - ・調査地点の表し方：新測地系の緯度経度・メッシュ番号・住所や地図記載
- ② 前回2010年調査からの変更点
  - 1) メッシュ番号をすべて「新測地系によるメッシュ番号」に変更
    - ・「旧環境庁発行のメッシュ地図」は旧測地系によるものなので今回は使用不可。
    - ・新測地系によるメッシュ番号は、「タンポポ調査・西日本2015」のホームページなどより検索（出力も可能）
  - 2) 「スマートフォン」を用いた調査を新しく取入れる。
    - ・ただし、この方法でも「頭花」の送付は必要。そこで、この方式で寄せられたデータと、各府県事務局へ送付されたサンプルを一致させる必要があり、そのために、別に「登録番号」を発行し、これを調査用紙に記入していただく。→調査期間中に一定期間ごとにまとめて、各府県事務局へ知らせる。
    - ・この方法で調査用紙に記入する必要事項の入力も行えるようにする予定。  
→詳細は三島さんより本日説明。
  - 3) 「調査用紙」の一部の項目を修正（必ず今回の調査用紙を使用ください）
    - ・「環境」の記録を下記のように変更  
「D. 田んぼや畑、果樹園、農道など」→「D. 田畑、あぜ道、果樹園、農道など」  
「G. 道路沿い、分離帯」→「G. 車道沿い、分離帯」  
「公園・庭園・植え込み……など」→「公園・校庭・植え込み……など」
    - ・調査場所については住所の記載を必須とし、それ以外に1つの記載を求める。
    - ・タンポポの種類については、「3.花は白色」を一番最初に持ってくる。
    - ・個人情報の保護と研究目的でのデータ提供に関する注を入れる。
  - 4) 雑種解析について
    - ・前回調査時には「雄核単為生殖雑種」の存在が想定されていたが、現在は否定されている。今回は、そのことも考慮して、前回から引き続いて、大阪市立大学の伊東先生の研究室に一定数(セイヨウ100+アカミ50)の瘦果のサンプルを送って解析していただく。

## （3）調査組織・体制

- ① 西日本実行委員会の体制
  - ・組織名：「タンポポ調査・西日本実行委員会」  
\* 調査の名称は「タンポポ調査・西日本2015」
  - ・代表：布谷知夫氏（三重県総合博物館長）・副代表：武田義明（兵庫県生物学会）
  - ・西日本事務局：大阪自然環境保全協会に事務局を置き、協会の木村・高島・宮田に加え、鈴木氏・小川氏・狩山氏の計6名をメンバーとする。

- ・調査対象が広域なので、近畿・四国・中国(九州)の3ブロック体制とする。  
→近畿は鈴木氏(兵庫)、四国は小川氏(徳島)、中国は狩山氏が中心となる。

## ② 各府県実行委員会

- ・今回は府県によって事務局が決定しないところがあり、次の3つの体制をとる。
  - A. 各府県事務局ですべての取組みを行う。(16府県)
  - B. 調査用紙の受取先とはなるが、処理は他で行う。(京都府・山口県)
  - C. 調査用紙の受取も他府県で行う。(鳥取県→岡山県)

	コード	府県名	前回代表	今回代表	事務局	調査用紙の受取先
1	14	福井県	横山恵子	香川正行	A	自然観察指導員の会
2	24	三重県	川村龍也	布谷知夫	A	三重県総合博物館
3	25	滋賀県	布谷知夫	芦谷美奈子	A	滋賀県立琵琶湖博物館
4	26	京都府	今村彰生	京エコセンター	B	京エコロジーセンター
5	27	大阪府	木村進	同	A	大阪自然環境保全協会
6	28	兵庫県	鈴木武	同	A	兵庫県立人と自然の博物館
7	29	奈良県	久保田有	今西塩一	A	奈良教育大学教育学部
8	30	和歌山県	内藤麻子	同	A	和歌山県立自然博物館
9	31	鳥取県	有川智己	清末幸久	C	→倉敷市立博で受け取り
10	32	島根県	井上雅仁	同	A	島根県立三瓶自然館
11	33	岡山県	狩山俊悟	同	A	倉敷市立自然史博物館
12	34	広島県	平山琢朗	世羅徹哉	A	広島市植物公園
13	35	山口県	眞崎 博	山口県博	B	山口県立山口博物館
14	36	徳島県	小川 誠	同	A	徳島県立博物館
15	37	香川県	末広喜代一	同	A	香川大学教育学部
16	38	愛媛県	松井宏光	同	A	NPO法人森からつづく道
17	39	高知県	藤川和美	伊藤千恵	A	高知県立牧野植物園
18	40	福岡県	三島美佐子	同	A	九州大学総合博物館
19	41	佐賀県	上赤博文	同	A	佐賀植物友の会

## ③ 調査活動の進め方など

- ・会議の持ち方：前回同様に、実行委員会＋スタッフ会議＋課題別小委員会（調査マニュアル作成・データ解析など）の方式で会議を持つ。
- ・データ処理体制……事務局へ送付→小川さん中心にデータ処理を行う。
- ・HP……管理者は小川さん（徳島）。
- ・ML……実行委員会メンバー用と一般用ML、管理者は村田さん。

## (4) 今後の予定

- 2014年3月～4月 各府県・ブロックでの説明会・講習会の開催
- 3月～5月 2014年調査の実施→調査用紙・サンプルの回収（～6月10日）
- 4月～6月 調査用紙・サンプルの処理・花粉観察・データ入力（～9月末日）
- 6月14日 調査サンプル検討会・兼第2回スタッフ会議（於 大阪市立自然史博）
- 7月末日 瘦果（タネ）の送付締切（→大阪市大・伊東氏へ）
- 9月末日 データ入力締切（→西日本事務局・小川氏へ）
- 10月～12月 2014年調査結果の解析→中間報告の作成（～12月）
- 11月 第3回スタッフ会議（2015年調査に向けて）

～12月末 2015年調査事務局の確定・必要なら調査用紙の検討  
2015年 2月～3月 第3回実行委員会（兼現地説明会・講習会）  
3月～5月 2015年調査の実施  
6～12月 調査結果の解析（西日本全体・各府県別）  
2016年 3月まで 最終報告書の作成・報告会の開催  
<当面の予定>

\* 調査サンプル検討会 兼第2回スタッフ会議

- ・日時：2014年6月14日（土）
- ・場所：大阪市立自然史博物館（新実習室）
- ・内容：同定困難な調査サンプルの検討、調査用紙回収状況の報告

## ※お願い

- ① 各府県で3～4月に「調査説明会」を開いてください。⇒予定が決まりましたら、MLで流すか、ホームページ担当の小川さん（徳島博）までご連絡ください。ホームページにも掲載します。
- ② 各作業は締め切り厳守でお願いします。
  - ・調査期間：～5月31日、調用紙の送付締切：6月10日、瘦果の送付締切：7月末日
  - ・花粉観察や調査データ入力締切：9月末日。